真岡市行政評価システム

点検橋梁数

事務事業名

政策名

成果指標

事業概要

6 年度 実績·成果·課題

評価対象年度 令和6 年度

事務事業マネージメントシート 作成日 令和7 年 03 月 25 日 市道維持補修事業 建設部 建設課 維持係 4 「都市づくり」~暮らしやすさアップ!~ 施策名 道路ネットワークの整備 6 年度実績 名称 単位 橋 67 修繕工事橋梁数 橋 舗装修繕延長 3,880 ・道路法施行規則に基づき、2m以上の橋梁を対象に5年に1回の頻度で、近接目視による点検が義務付けられている。そのため点検は平成26年度から1巡目を実施 しており、令和5年度には2巡目が完了した。橋梁長寿命化修繕計画を平成24年度に策定し、令和3年度に計画の改定を行った。 ・道路法に基づき、道路管理者として道路を常時良好な状態に保つよう維持・修繕し、一般交通に支障を及ぼさないように努めている。平成27年度に舗装長寿命化 修繕計画を策定し、順次修繕を行っている。 ・市が管理する橋梁数は503橋であり、そのうち修繕が必要な橋梁は17橋である。令和6年度は国の補助金を活用し、67橋の点検、及び1橋の修繕を行った。 ・路面性状調査を基に令和6年度は国の交付金を活用し3路線、及び起債等を活用し複数路線の舗装修繕工事を行い、一般交通に支障を及ぼさないように努める ことができた。しかし舗装修繕する路線は年々増加傾向で、重要路線である1、2級路線でも修繕が実施されていない路線があり、走行性を確保する必要があ る。 □廃止 □休止 □目的絞込み □目的拡充 □事業統廃合 □事業のやり方改善 □予算削減 □予算増大 □現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

今後の方向性と 具体策

【具体的な改善案】 限られた予算のなかで早期に事業効果が発現できるよう、重要度、必要度、影響度を考慮し、優先度が高い路線から整備する必要がある。修繕にあたっては引き続き国の補助等を活用し、一般車両が支障無く通行できるよう努める。